

ひまわりからの メッセージ

146号

2024. 1. 15

NPOひまわり
西濃圏域
障害児支援センター

発行人：中野たみ子

新春を

迎えて



お正月早々、能登の地震のニュースがとび込んで来ました。
コロナ禍で閉塞されていた時間から解放されて、一家でお
正月を過ごそうとされていた方々に、余りにも厳しく酷い現
実です。日々放映される被災地のニュースに心痛めつつ、一体
私に何が出来るのだろうかと考えてしまいます。災害に遭
われた方々や救助にあたる方々におられる方々の身に思いを馳せ
ながら、結局私にできることは今の自分の生活に真摯に
向き合い、今この時を大切に生きていくことしかないのだろうか
と思い至りました。

ところで、皆さんは年賀状を出されましたか？ 私は、毎年
年末にあわてて書くのですが、今年はどうしても気が進まず、い

ただいた賀状にお返しを書くだけで終えてしまいました。古い
友人や同級生の中には、身内を亡くされた方も多く、結局購入
した葉書を残すことになってしまいました。出しそびれてしま
っている方がいらつやったり、どうぞお許し下さい。

いただいた賀状の中で一番うれいのは、今までかかわったお子
さんやご家族からの賀状です。そこには近況が書かれていて、
「つらいことはたくさんあるけど、がんばって働いています」、「ケル
ノホームに入り、ホームから仕事に通っています」と書かれている
ものや「会いたいです」、「元気でいま下さい」と体を気づかっただ
るもの、「一人で買物に行けるようになるのが目標です」と、今年の
抱負が書かれているものなど、それぞれの日常が垣間見えます。
一枚一枚、幼い頃のことを思い浮かべつつ、「お姉ちゃんのスカートを
はきたいと泣いたっけ」、「新しいことをやらせようとする時、固まっ
て、いつも不安そうに私の目を見上げてくる子だった」、「療育ス
ケジュールを呈示すると、わざと入れ替えて、「はじめのあいさつの次に、おやつ
のカードを並べて笑っていたなあ」等々、ついつい笑いが込み上げて
きます。そして、長い年月の間、私はこの子やこの人達に支えら
れまくったのだなあと思うのです。

庭の夏みかんが今年も鈴生りです。余りにも酸っぱいので
もらい手が余り見つからないのですが、豊かさを実りを見せま
れることで「心の豊かさを忘れずに」と諭してくれている様です。

お願いです!!



子ども達の困りを見逃さないで!!

「私の心は、今泣いています……」等と言うと、皆さんからお叱りを受けるかもしれません。でも、悲しい、腹立たしい、寂しいといった複雑な気持ちで揺れ動いています。

私は自分の人生の大部分を障がい児と呼ばれる子ども達や発達上困りをもつ子ども達と関わってきました。そして、発達障害者支援法が制定された後、「途切れない支援」ということが叫ばれるようになって、各機関の連携やサポートブックの普及が広がってきて、少し子ども達の未来に今までの違った展望が開けてくることを期待してきました。

大垣市では、行政も参加し、保護者も参加する形で始まった引きつぎ会の第一回目の子ども達が昨年、高校を卒業する年令になり、就労や進学へと新たな一歩を踏み出していきました。進学先の大学や就労先では、幼児期からの特性理解と支援の継続に「すばらしい」と言われましたという報告もある反面、「サポートブックをもっていることも、もっと早くに知らせてもらえていれば……」との声もありました。

西濃圏域の市町で取り組まれている引きつぎ会ですが、私はここにきて心痛むケースをいくつも見聞きしてしまいました。あるお母さんが小学校から中学校への引きつぎの席で「漢字が覚えられないし、黒板も写せません」と言われるのです。サポートブックを拝見すると園の時に視機能検査がされているにもかかわらずに困りのあるお子さんと言えます。でも、六年間通級を勧められたことは一度もなかったということでした。

もう一人もWISC-IIIの結果からも視機能(見え方)の困りが予想されました。幼児期のIQは90代でした。でも、そのお子さんちどの先生にも気づいてもらえなかったのでしょうか。次第に学校を休みがちになり、その結果IQは40代になっていました。いわゆる知的障害です。生来の障がいではないのに? それって酷くないですか? ..

読み書きが苦手な階段の下りが苦手で手すりにつかまってる下の子に、マヒもなく不随意的な動きもないのであれば、常識的に考え、もしかしらう目の動きが関係しているのではないだろうか? と想像してみることはないのでしょうか。そういう想像力も持ち合わせず、ただ「く」が出来ません! と、現象面だけを見てきめつけてしまっているのではないだろうか……。

色々と見聞きする中で、この際皆さんにお願いいたします

思い立ちました。失礼を承知で書かせて下さい。

校長先生方へ



サポートブック(名称は、市町によってスマイルブック、レイン
ポアブックなど異なります)を持つていることの意味を、もう一度
見直していただけないでしょうか。

先生方がお忙しいのは分かりますが、引きつぎは、単に園
から小学校へ、小学校から中学校へ引きつぎは、終りではないと
思うのです。一年生から二年生、二年生から三年生へ……と学年
がかわる時に、そのお子さんの困りの原因や誘因を、年度始めに
確認していただけるように、校長先生の立場で先生方にお伝
えいただけませんか。

多動なお子さんも脳が成熟する十歳には落ちついてくると考
えられています。脳の成熟を考えると、子どもの困りが単に知的な
発達の違いとして片づけられてしまつて良いのかどうか、前
述のようなケースがあることを是非知っておいていただきた
いと願っています。

コーディネーターの方へ



コーディネーターの先生方は他の先生方よりも学ぶ機会もあ
り専門知識も持たれているはずだと私は思っています。担任の先生
方からの相談にも応じておられるでしょうか、子どもの困りの情

報が逸早く届くお立場かと思ひます。今困りをもつ子どもたちは、感
覚の問題をもち、外界からの情報に対して選り分けられず、困るこ
ろの子、見え方の問題をもち、眼球運動の弱さや両眼視の弱さ、図
と地の関係の弱さがあるために学習が進まない子、乳幼児期からの言
葉の発達の遅れもあつて語彙の少なさや表現力の弱さのある子、気持
ちのコントロールが難しい子など数多く、対応にきつと苦慮されて
いることでしょう。

でも、困っているのは子どもたちです。学習障がいの子も多
いはず。学校での合理的配慮には限界があることもよく分かっています
が、せめて、子どもの困りが何に起因するものなのか、保護者や担
任の先生方と一緒に探ってみていただけませんか。

前述した視機能の問題を言えば、文字の形がとれない、まっす
ぐに書けない、文字の大きさが揃わない、板書写しに時間がかかる、
文節に区切って読めない、行かえの時に飛ばして読む、等々、ど
うしてだろうと疑つてみて下さることが大事だと思います。自分
の座席の近くに全ての教科書やノートを放り出している子を見か
けることもありますが、おそろく図と地の関係といつて背景の中
から必要な物を選び出す力が弱いのでしよう。板書写しには、眼
球の動きとして、遠く(黒板)→近く(ノート)という飛躍性の目の
動きが必要で、本を誦む時には、文字をゆっくりと追つていく眼
球の動きが必要なのです。今の子どもたちは、スマホやゲームなど

手元で動くものを追って遊んでいますから、物をよく見ている
と思われがちですが、目の働きが弱い子も一定数いると思っ
て下さるといいでしょう。

園から小学校へと引きついだ子の半数は中学校への
引きつぎをされていません。保護者や先生方が「勉強が
できるから大丈夫」と考えらるるようですが、本当
に今後とも支援が不要なのか、よく考えた上で決論を
出して下さるようお願いいたします。

保護者の方へ



何故、あなたはサポートブックを作ろうと思われたので
しょうか。よく理解した上で持たれましたか。なぜ、お子
さんにWISC検査をされましたか。先生に言われたか
ら……でしょうか。

サポートブックはお子さんのためでもあるし、実は保護
者の方のためでもあると思います。お子さんのことを学校
の先生によくわかってもらってより良い支援を受けるた
めだということも、もちろんあるでしょう。しかし、お子さ
んの将来にわたってお子さんを理解し、支え、自立に向
けて共に歩んでいかれるのは、お父さんやお母さんです。
お子さんの強みも苦手さも特性もわかって、一番の理解

者として、お子さんが自己理解していけるように手を貸
していくことが大切なのです。サポートブックに閉じられて
資料やお子さんの指導計画や支援計画の中に子育て
の多くのヒントがあるはずですよ。

お母さん方の中には「家では何の問題もないのに学校では
できないと言われる」と不満をもたれる方が少なからずいら
しゃいます。学校では集団の適応力が必要なのですが、果
たして家庭にルールがあるのでしょうか。家庭には家庭の役
割があります。何でも子どもの好き勝手にさせていたら、
当然規則のある学校は嫌に決まっています。

長い間この仕事にかかわってきて、一番感じるのは家庭
の大切さです。保護者として、子育ては大変だと思いき
が、昔から親は子どもにより親として成長していけるのだ
と言われています。私もその通りだと思っています。

サポートブックを作ったのなら、それを利用していきまし
う。先生方や関係機関と連携して子育てに生かしていけ
るように、子ども理解を深めていけると良いと願っています。

お知らせ

2/14 ピアサポート

2/19 センズ親の会

2/24 家族会

3/6 ピアサポート

3/11 センズ親の会

3/23 家族会

